

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/7 (木)	1	11 金子 辰男	1、市長の政治姿勢について	市長は、三豊市発足以来初代の市長として就任され、三期12年目を迎えている。その間の成果と今後の取り組みについて伺う。またこの三期12年の評価を踏まえ、次期市長選も視野に入れた今後の対応についてどのように考えているのかを伺う。
			2、所有者不明土地について	人口減少が進み、所有者が分からない土地をめぐる社会問題が増えてきている。以前は、空き地は少なく誰かが活用していた、人口減少につれて、所有者不明の空き地や空き家が現れるようになった。所有者不明の土地、三豊市は実態の把握をしているのか伺う。
			3、農福連携について	農業と福祉の連携、弱い部門同士のようなのだが、この連携は農業と福祉の双方の変化を促す。そして、新たな地域づくりの基盤ともなる。農業が多様な人々に関わることでできる就労の場となり、更に農業、観光、地域、福祉、医療をつなぎ合わせた事業展開がみえてくる。全国で広がりをもよおす農業と福祉の連携は、地域の課題解決方法のひとつとして注目されている。三豊市の実態と、認識などを伺う。
			4、異常気象多発時代の防災政策について	全国的に多くの死者、行方不明者が出ている豪雨災害、九州北部の集中豪雨は、別格激しさを増している近年の気象と災害の怖さを、あらためてみせつけた異常気象災害、緊急時の職員体制などを聞く。また大規模火災発生時の消防の対応を聞く。
	2	14 西山彰人	1、三豊市のまつりについて	詫間港まつり協賛会の一員として、大勢の市民の皆さんが港まつりを堪能されたと思う。しかし、駐車場が少なく、大変ご苦労を掛けた。市長の感想を伺う。
			2、永康病院改革について	水族館問題の時に感じたが、市長の本気度が重要と思われる。永康病院改革に対する市長の決意を伺う。
			3、学校給食について	食材の確保などご苦労していると思うが、美味しく食べてもらうための工夫が十分にされているか伺う。
			4、見積結果の公表について	見積結果の公表について、公開が不十分ではないか、また事業によって公表にばらつきがあるのではないかと伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/7 (木)	3	15 大平敏弘	1、市民と市長・職員・議員の協働のまちづくり(昨年9月 市民参加と職員の市民としての協働は)	<p>任期終了ほぼ最後の一般質問として、合併優遇措置終了後の、三豊市に必要な自主自立でありその延長線上に「豊かさをみんなで育む市民力都市」とうたっていると昨年9月議会の答弁。</p> <p>さらに、ご指摘のとおり、地方交付税減額により財政状況が厳しくなる中、この自主自立した市民力の躍動は、より一層の価値を高め、市外からも多くの人々が注目をし始めている。豊富な人生経験と湧き上がるバイタリティーで活躍しているヤングシルバーのみならず、若い世代も独自の動きを見せ始めている。将来に向けて前進する市民力の盛り上がり、市職員の感覚が置いて行かれないよう、市職員もイベントや地域行事に積極的に参加するよう務め、市民の皆様と一緒に体感を呼びかけているところ。との答弁だが、一年後の状況は。</p>
	4	4 浜口恭行	1、松崎地区の就学前教育・保育施設の適正化配置計画について	<p>松崎地区においては、松崎保育所、松崎幼稚園とも老朽化が激しく、特に幼稚園は小学校に隣接していない、保育所は古い施設のままでの来年4月からの公設民営化移行などの、問題を抱えていると考えるが、将来的にどのような方向性とする予定なのか、当局の考えを聞きたい。</p>
			2、集落排水について	<p>集落排水施設の使用料は詫間地区が大幅な値上げとなる改定が予定されていると聞く。今後の料金統一に向けた具体的な計画・方針を聞く。</p>
			3、警報時の学童保育の対応について	<p>気象等の警報が発表された場合、特に台風等で警報が発表されそうな時の、学童保育の対応については、どのような対応をするのが良いのか、直営の学童保育と民間委託の学童保育とでは対応が違うのか、市当局はどのような対応がベストとしているのかを聞く。</p>
	5	21 瀧本文子	1、男女共同参画プランについて	<p>プラン策定に向けて、市民対象のアンケート調査が実施され、取り組みが進んでいる。昨年度第3次の男女共同参画プランを策定した、丸亀市の担当者と意見交換する中で三豊市の第2次プランを踏まえて、より一層進化したプランが望まれる。以下について考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最重点目標の設定、特に今後、集中的に取り組むものを決めてはどうか ・ネットワーク団体が活動拠点とできる、センターの確保 ・広報紙の発行 ・専門担当職員の配置 ・庁舎内プロジェクトチームとの連携
			2、図書館基本計画について	<p>今年予定されている基本計画策定に向けて、8月はじめ、関係者によるワークショップが開催された。「7館の機能を見直し、各図書館の特色を持たせ、どうやって利用率を高めるか」が開催の目的ということだ。基本計画の策定に当たり、これからのスケジュールについて、また、頂いたアンケートや今回の意見をどのように生かしていかれるのか、そして基本構想では見えにくかったビジョン、構想、となる三豊市が目指している図書館像について、伺う。</p>
			3、「主権者教育」と投票率向上について	<p>公職選挙法が改正されて、2016年の参議院選挙から選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられた。学校において実施されている「主権者教育」の内容について伺う。</p> <p>また、投票率向上に向けて、選挙管理委員会において、若年層を中心にした取り組みについて。また大型量販店の(期日前)投票所の開設や選挙公報の発行日を早めるとか、視覚障がい者向けの音声版選挙公報の周知について、考えを伺う。</p>

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/8 (金)	6	12 近藤久志	1、提案型まちづくりの成果と職員力について	<ul style="list-style-type: none"> ・大型事業構想等については、ほとんどが都会のコンサルタント会社による計画提案だと考えるが、特に国の交付金対象については、制約があるのか。 ・職員の提案立案力に頼らず、コンサルタント会社に委託する件数が増加していないか。
			2、竹林化する里山荒廃対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を活用した地域ぐるみ活動組織化を行い、竹林化里山の再生を推進していくには、市の補助金を付加して次年度から予算化すべきでないか。(モデル地区指定による事業推進・栗・梅等の収益樹木造林等)
			3、農業用車両の課税免除について	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用車両の課税実態数と税額はどのようになっているか。 ・現状の農業用車両の課税根拠法から勘案して、現状にそぐわない機種によっては、課税対象から外す事ができないか。
	7	2 石井勢三	1、三豊市の現在の観光の現状と今後について	<p>三豊市における観光は近年、瀬戸内芸術祭、紫雲出山の桜、各地区の祭り等、いろいろ発信をしているが、年間を通じて、観光客を呼び込める目玉となるものが、まだまだ、存在していないように思われる。現在、国をあげて観光に力を入れている中、我が三豊市においての観光の現状と、今後の発展計画を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①讃岐造船跡地のその後の進捗状況は。 ②インスタで話題になっている父母ヶ浜の取り組みは。 ③先日、CUOも決まった瀬戸内うどんカンパニーとの関係は。
			2、三豊市小中学校のホームページについて	<p>三豊市内の小中学校のホームページについて、未だ、改善の経過が見られない。今の時代、家族、地域との連携には必要不可欠であり、これだけ便利な手段をなぜ、もっと活用しないのか。議会報告会でも各所で、市民の方から指摘を受けている。先生の負担等も考慮しながら、この点で今一度、今後の計画を問う。</p>
	8	5 丸戸研二	1、工業用水の確保と包括的企業振興について	<ul style="list-style-type: none"> (1)工業用水の需要の現状と将来見通し (2)工業用水需要に対する基本的姿勢 (3)水源の確保対策 (4)実働性・機動性のある専門部署の設置 (5)全市的対策と実施計画(財政負担との関係)
			2、消防団の再編と消防力の向上について	<ul style="list-style-type: none"> (1)再編計画の進捗状況 (2)団員の確保と昼夜の消防力 (3)分団の再編と消防施設の再編・整備 (4)再編の年次計画とマネジメント
			3、公共施設再配置における財田庁舎、財田公民館の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> (1)地域との合意形成について 地域との合意形成がなければ再配置は進められない 地域住民の心情にどう寄り添うのか (2)7つの個性、7つの光をどう調合し再生するのか ライフサイクルコストだけで解決できるのか (3)数の原理と合併前の状態 地域の人口は絶対的な指標になり、合併前の状態は最大の判断基準なのか

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/8 (金)	9	10 詫間政司	1、空家対策の現状とこれからについて	本年制定された「三豊市空家等の適正な管理に関する条例」で、「三豊市空家等対策計画を定める」こととなっており、『三豊市空家等対策推進協議会』が設置され、協議が進められている。市内の空家等の実態調査結果と対策の現況及び、協議会の現状、今後の予定について問う。
			2、「市子ども読書活動推進計画」の中の学校司書の位置づけについて	現在の「三豊市子ども読書活動推進計画」は、平成26年度から平成30年度までの5年間を期間としている。平成30年度は次なる5年間の計画策定の年度となると思われる。子ども読書活動のより一層の充実に向け、これまでの成果や課題を活かしていかなくてはならないと考える。平成25年度より配置を始めた、学校司書の活動の成果と配置状況及び今後の計画、並びに次期「市子ども読書活動推進計画」への反映について問う。
			3、これまでの想像を超えた危機に対する管理について	強い毒性を持つ外来種(特定外来種生物)のヒアリが確認されたことや、隣国のミサイル発射等、国境を超えた危機が日常の中で現実となっている。市民にとっては、これまでの想像を超えた経験したことのない危機であり、有効な自己対応の手立ても見当たらない不安な状況だ。行政としての対応について問う。
	10	7 込山文吉	1、「世界気候エネルギー首長誓約/日本」について	①三豊市エコオフィス計画のCO2削減目標と現状を聞く。 ②カーボン・マネジメント強化事業の先進性と目標を聞く。 ③市内事業者・市民の模範となることが求められる。人材育成計画を聞く。 ④「世界気候エネルギー首長誓約/日本」が10月に立ち上がる。取り組みを聞く。
			2、重点道の駅「たからだの里さいた」について	①平成27年度重点道の駅「たからだの里さいた」に応募したメニューがどうなっているのか聞く。 ②施設を有効に活用して中山間地域の拠点とする構想と現状を聞く。 ③移住コンシェルジュの設置構想の進捗状況を聞く。
			3、市の入札制度について	①市の入札制度と県・国との入札制度に違いがある。現状に問題はないのか聞く。 ②総合的入札制度の研究をしてはどうか。
			4、指定管理施設の使用料について	詫間町の公民館分館指定のない地域施設を指定管理としたことから使用料で混乱している。 ①教育委員会は公民館分館指定をするべく努力をする必要はないのか。考えを聞く。 ②指定管理者への使用料について、現状を聞く。
	9/11 (月)	11	6 水本真奈美	1、防災減災対策について
2、食品ロス削減の取り組みについて				①本市の学校給食における食品ロスの認識と現状 ②教育現場での食育や環境教育などを通して食品ロス削減の取り組みと今後の方針 ③フードドライブ、フードバンクを取り組んではどうか、お考えを伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/11 (月)	12	18 為広員史	1、任期満了まで5カ月を切りましたがやり残した事業について	市民や議会と約束された事業でまだ実行できていないものについてどの様に扱われるのか。
			2、通学路の整備について	国道・県道・市道について通学路の整備をどの様に考えているのか。特に県道で歩道整備の計画をしながら一向に進まない現状について。
			3、職員の出身地による格差について	合併より11年が経過したが出身旧町による格差が是正されているのか。
			4、非正規職員の待遇について	非正規職員の待遇についてどのように考えているのか。先般市長は保育所の職員の3分の2は正規職員にするとされたが、いつからか。また非正規雇用期限なしとの関連について。
	13	17 鴨田 偲	1、永康病院の改築について	①永康病院の建物の耐震ができていない事は承知しており、建替えについては必要性があると思うが、10年、15年先の三豊市の医療を考えての永康病院の位置付けをどのように考えているのか、市長に伺う。
			2、人災・天災対策について	①29日午前6時過ぎに北朝鮮のミサイルが日本上空を通過したが、三豊市はこのような事態に対しての対策はできているのか伺う。 ②市内の緊急避難場所は何カ所あり、非常物質の備え付けは、どうなっているのか。また耐震はすべてできているのか、伺う。
	14	3 岩田秀樹	1、国保都道府県単位化問題について	国保都道府県単位化は、国の財政支援3,400億円を前提に地方6団体も合意した中身である。国は1,700億円で一人5,000円の財政効果があるとしている。実態としてどうなるか。また新たに創設される都道府県財政安定化基金・保険者努力支援制度で効果はあるのか。
			2、「部落差別解消の推進に関する法律」が制定された	国の同和事業は2002年3月に終了し15年経た。法に定められた部落差別の解消に関する施策や実態調査の条文は無限定であり、同和対策事業の復活や特定団体による教育や啓発が強制されることにならないのか。
			3、学童保育の運営基準の作成について	学童保育を必要としている家庭が増えている。このような中、2015年4月より、従来は特別な資格は必要なかったが、2人以上の「放課後児童支援員」を配置することが義務付けられている。市と保護者の理解を得るためにも、民間に委託した部分についても、運営基準を具体的に作成する必要があるのではないか。 また、警報発生時の保護者の対応について見直す必要があるのではないか。
			4、介護車を1カ所だけでなく2カ所にしてほしい	車椅子で生活している親を外出する時、家に介護車がなかったため、山本町の社会福祉協議会まで借りに行った。せめて高瀬くらいにもう1カ所、近くに貸してもらえる所があれば。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成29年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/11 (月)	15	9 三木秀樹	1、119公共施設の使用料に関して、当局の考えをどう実行しているのか。進捗状況を聞く。	6月の答弁「利用者の合意に基づいてご負担いただく」ために ①「全ての公共施設において総点検している」が、何を、どのように点検し、その進捗状況を聞く。 ②「市民の方々の対話集会等で説明しながら議論を重ねる」とのことだが、いつから、どのように1000団体以上と実施するのか。7月に行った市長の報告会は「議論を重ね」になるのか。 ③行革本部の「有料化の討議の場」に、教育委員会は利用者の声を発言するとしているが「公益団体と位置付ける」大半の団体の声を聞くことは進んでいるのか。またその調査等の進捗状況を聞く。
			2、三豊市新公立病院改革プラン検討委員会と議会の「永康病院調査特別委員会」の関連性に関して聞く	第3回(3月23日開催)市改革プラン検討委員会の審議で、オブザーバー及び「委員」が、議会の「特別委員会」に、新永康病院建設の全ての権限を「委託している」様に発言し、新改革プランの文言に「特別委員会の決定」を入れた意向を示したり、「特別委員会」に同改革プラン検討委員会の議事録を報告すると発言している。こうした「無責任な発言」は、誰がどのような見解でおこなっているのか。また改革プラン検討委員会と議会の「特別委員会」との関連性を私等も聞きたい。
			3、現状の永康病院での課題の改善状況を聞く	今後2～3年で多数の退職者を出す「看護師」問題、医療技術員、事務職員の要員不足の問題、収益につながる職員のスキルアップの研修等の問題は、現実問題として克服されているのか聞く。